

出資法人等評価・カルテシート（平成 26 年度分）

1 出資法人等の概要

団体名	公益社団法人豊中市シルバー人材センター		
所在地	北桜塚 3-1-28	所管部局・課	市民協働部 雇用労働課
設立年月日	昭和 56 年（1981 年）6 月 30 日	代表者	理事長 高塚 準一郎
基本金・資本金		うち市出資額（率）	円（ %）
設立目的	定年退職者等の高年齢退職者（以下「高年齢者」という。）の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務（当該業務に係る労働力の需給の状況、当該業務の処理の実情等を考慮して厚生労働大臣が定めるものに限る。次条及び第 5 条において同じ。）に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高年齢者の能力を生かした活力ある社会づくりに寄与することを目的とする。		

2 役員・職員関係

各年 4 月 1 日現在

		H24			H25			H26		
		市派遣	市 OB		市派遣	市 OB		市派遣	市 OB	
役員	常勤	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	非常勤	11	1	2	11	1	1	11	1	1
職員	常勤	8	0	0	8	0	0	7	0	0
	非常勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役員の平均年間報酬（H25 年度、千円）※常勤のみ		0 円			職員の平均年間給与（H25 年度、千円）・平均年齢 ※常勤のみ			6,895 千円・51.4 歳		

3 財務関係

損益計算書		金額（千円）		
		H23	H24	H25
	総収入	676,658	701,290	718,154
	（うち市受入金）	45,506	42,735	41,700
	総費用	690,326	704,836	720,098
	経常損益	▲13,668	▲3,546	▲1,943
	当期損益	▲13,668	▲3,546	▲1,943

貸借対照表		金額（千円）		
		H23	H24	H25
	資産の部合計	157,987	159,113	156,984
	負債の部合計	77,306	81,978	81,792
	（うち有利子負債）	0	0	0
	純資産	80,681	77,135	75,192
	利益剰余金	80,681	77,135	75,192

4 市の財政的関与の状況

(単位：千円)

		H23	H24	H25	主な内容、算出根拠等
フロー	補助金	45,506	42,735	41,700	
	事業費	45,506	42,735	41,700	
	運営費	—	—	—	
	委託料	90,311	82,059	107,650	ペットボトル回収業務、自転車保管所管理業務など
	指定管理委託料	—	—	—	
	その他	—	—	—	
計		135,817	124,794	149,350	
ストック	貸付金残高	—	—	—	
	債務保証残高	—	—	—	
	損失補償残高	—	—	—	
	出資金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
計		—	—	—	—

5 経営の状況

(1) 出資法人等の主な事業

事業名	事業内容	活動指標	H23	H24	H25
就業機会確保事業	会員に就業機会の提供 仕事に契約までに至った件数	就業率	75.5%	76.4%	77.0%
		契約件数	11,185 件	11,520 件	11,930 件
労働者派遣事業	会員に就業機会の提供	延べ就業人数	10,621 人	11,888 人	12,426 人
		事務手数料	4,119 千円	4,263 千円	4,492 千円
無料職業紹介事業	会員に就業機会の提供	延べ就業人数	486 人	255 人	165 人
普及啓発事業	会員の入会促進 仕事の依頼があった件数	粗入会率	1.7%	1.6%	1.5%
		申込件数	12,586 件	12,205 件	12,964 件

(2) 財務指標

指標	視点	内容	H23	H24	H25
市受入金比率 市受入金／経常収益×100	自立性	市への財政的依存度を表わします。一般的に数値が低いほど、財政的に自立性が高いといえます。	6.72	6.09	5.81
人件費比率(%) 人件費／経常費用×100	効率性	数値が低いほど財務の弾力性が高いといえます。総支出における相談業務等のマンパワーが業務の中心となる団体については高くなる傾向にあります。	13.90	12.80	13.54
管理費比率(%) 管理費／経常費用×100	効率性	コスト体質を表すもので、一般的に数値が低いほど効率が良いとされます。	15.30	1.61	1.19
正味財産比率(%) 正味財産合計／(負債＋正味財産合計)×100	安全性	負債及び正味財産合計に対する正味財産合計の割合。自己資本の比率が高いほど資本構成が良く、経営の安全性が高いといえます。	51.06	48.48	47.90
固定比率(%) 固定資産／正味財産合計×100	安全性	正味財産合計に対する固定資産の割合。固定資産を返済不要な正味財産合計でまかなわれているかを表わします。100%未満であれば安全性が高いといえます。長期的な経営の安全性を示しています。	33.20	36.54	38.65
流動比率(%) 流動資産／流動負債×100	安全性	1年以内に返済を要する負債に対する1年以内に資金化できる資産の割合。数値が高いほど支払い能力が高いといえます。100%を下回る場合は注意が必要です。	232.54	219.18	219.77

(3) その他

ア 給与体系

区分	<input type="checkbox"/> 独自体系 <input checked="" type="checkbox"/> 市の体系を準用 <input type="checkbox"/> その他 ()
見直し予定	<input type="checkbox"/> 予定あり (年度予定) <input checked="" type="checkbox"/> 済み (H25年4月)

イ 情報公開

公開ツール	<input type="checkbox"/> ホームページ (URL :) <input type="checkbox"/> 広報紙 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所備え付け <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
公開内容	<input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画 <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告 <input checked="" type="checkbox"/> 経営計画 <input checked="" type="checkbox"/> 財務諸表

ウ 指定管理者の状況

施設名	指定管理期間	備考

6 経営上の課題

- ・会員の粗入会率（豊中市の60歳以上の人口から算出）が1.5%（男性2.5%、女性0.8%）で、大阪府1.9%（男性2.8%、女性1.1%）並びに全国平均1.8%（男性2.8%、女性1.1%）よりも低い。また、会員の年齢層も70歳前半層が多くなり、会員の高齢化もあり、発注者のニーズにあった就業者のマッチングが難しくなっている。
- ・先に述べた会員の高齢化に伴ない、後期高齢会員にもあった仕事の確保も課題として考える。
- ・法人設立から33年が過ぎ、法人職員においても高齢化が進み、近年の内にその大半が退職をむかえることになる。10年後、20年後の法人運営を見据えた組織の構成等の検討も緊急の課題となる。

7 経営改革の取り組み（平成25年度）

項目	取り組み内容	今後の課題・方向性
中期事業発展計画の具体化と実行	平成25年度は、中期事業発展計画を具体化していくための計画づくりと経営上の諸問題解決策を合わせて、委員会や部会で検討を進め、具体化していく。	平成24年度から中期事業発展計画を元に運営を展開しつつあるが、現実には、目標数値を大きく下回っている状況である。目標達成に向けた取組みを検討し実行していきたい。また、平成26年度は、中期事業発展計画の中間期にあたり、この事業の検証を行い、計画の見直し等を行い、事業の発展をめざしていく。
中期事業発展計画の具体化	平成24年度は、中期事業発展計画を具体化していくための計画づくりと経営上の諸問題解決策を合わせて、委員会や部会で検討を進めていく。	平成25年度から中期事業発展計画を元に運営を行っていく。また、計画の中間期に事業の検証を行い、計画の見直し等を行っていく。

8 出資法人等の自己評価

評価の視点	評価	今後の取り組み方針
<p>必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施事業は、社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか 	<p>高齢者の就業及びその他の社会参加活動を推進するものであり、高齢者がこれらの活動を通じて公共的なサービスや地域社会に不可欠なサービスの提供主体となっており、地域社会の福祉の向上と活性化に寄与する点において、「地域社会の健全な発展を目的とする事業」に該当する。また、高齢者の就業及びその他の社会参加活動の機会の実現は、高齢者が地域社会の一員として誇りを持って健康で生きがいのある生活の実現に寄与する観点から、「高齢者の福祉の増進を目的とする事業」とも関連する。</p>	<p>センターに依頼される仕事は、可能な限り受注し、就業につなげたい。</p> <p>また、それらのニーズにあった新規入会者を増やしていくことに加え、既存の会員には、希望職種を見直し新たな仕事にチャレンジするよう促していく。</p> <p>さらに、地域入会説明会の積極的な開催、チラシ、CATV、講演会等を活用し、新規会員の入会の促進と仕事の開拓に努めていく。</p>
<p>効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人的・物的な経営資源は有効に活用しているか ・組織体制、人事給与水準は適正か 	<p>中期事業発展計画を具体化していく中で、事務局組織の担当割等を組織化し、内部牽制体制を確立。</p> <p>会員の能力を活用した新しい事務局体制づくりをめざしている。</p>	<p>事務局内の人員について、配置可能な部署から会員就業に置き替えるなど、人件費の削減に努めていく。</p> <p>また、運営経費についても、なお一層の縮減に努めていく。</p> <p>新入会員に対し入会説明会や登録会のときに、積極的に就業紹介を行っていく。</p>
<p>有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意図する成果に有効に結びついているか 	<p>高齢者等の雇用の安定等に関する法律の改正で「一般労働者派遣事業」や「有料職業紹介業務」などの事業を行なうことができるなど、センターとして活動領域が拡がり、多種多様な会員ニーズに応えとともに、発注者の求人にも多様な対応が可能となった。</p> <p>また、公益社団法人として、公平で適正な就業機会の提供を推進している一方、特定の会員が就業機会を独占しないよう就業制限を制定した。</p>	<p>法令遵守の中で、会員数の増強をし、発注者の多種多様なニーズに応えていけるように努めていく。</p> <p>センター事業の目的達成に向け、従来からの業務の充実強化と新たな活動分野の開拓等に努めていく。</p>
<p>総合評価</p>	<p>関係法令を遵守し、会員のみならず市民参加もできる講演会の開催等、開かれた組織運営を展開。</p> <p>中期事業発展計画のもと、目標達成に向け努力しているところであるが、引続き、高齢者の多様な活動・ニーズを調査しながら、伸び悩みを見ている会員数の増強等を図ることと、高齢者が働く場を確保・提供するということを重点に事業を進めている。</p>	<p>中期事業発展計画を具体化していく中で、検討を行っていく。また、公益社団法人として、関係法令を順守し、会員のみならず、一般高齢者、市民、事業所など不特定多数の利益になるような組織をめざしていく。</p>

9 市による評価

評価の視点	評価内容	課題・方向性
<p>団体の存在意義 (必要性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出資目的は薄れていないか ・市の施策の方向性に適合しているか 	<p>高年齢者等の雇用の安定等に関する法律（以下単に「法」という。）に基づき、定年退職者等の高年齢退職者（以下「高年齢者」という。）の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与する目的で設立されており、これらの目的達成に向けた取組みを行っています。</p>	<p>今後、高年齢者がますます増加していくという社会状況を受け止め、高年齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、社会ニーズに迅速かつ適切に応えていっていただき、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりへの寄与を一層推進していただきたいと思います。</p> <p>新規入会者の増加については、さまざまなメディア・ネットワークを活用し取り組んでください。</p>
<p>団体の活動領域 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出資法人等を活用するメリットはあるか ・出資法人等にしかできないことか 	<p>法により、高年齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与する目的で設立されており、これらの目的達成に向けた一層の取組みを期待しています。</p>	<p>市民の信頼を維持・増進し、今後、増加していく高年齢者のニーズに適うよう、その目的達成に向けて、新たな活動領域の開拓等を着実に遂行していただきたいと思います。</p> <p>また、今後一層高齢者の雇用労働施策の進展に、市や関係団体等と緊密に連携して、迅速かつ的確に対応していただきたいと思います。</p>
<p>団体と市との関係性 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果が市の施策の推進にどれだけ貢献しているか ・市の関与は適切か 	<p>高年齢者の就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりへの寄与は、市の施策の推進と同方向を示しています。</p> <p>なお、上記目的を達成するため、補助金及び役員（理事）の関与を行っていますが、経営改善並びに会員数の増及び会員の満足度を一層進めていただきたいと思います。</p>	<p>高年齢者の就業機会の確保や、生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進、さらに高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりは、重要な施策の推進であるので、経営改善並びに会員数の増及び会員の満足度など、中期事業発展計画で示された目標達成が実現できるよう、市の関連施策と緊密な連携を行い、一層進めていっていただきたいと思います。</p> <p>また、今後の高齢者の就業機会の確保等については、市及び関係団体とこれまで以上に協働して取り組みを進めていきたいと思います。</p>

総合評価

法の目的を達成するよう、法が認める活動領域で、就業援助、生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに一層の寄与・貢献を図っていただきたいと思います。

また、中期事業発展計画に掲げられた目標は、必ず達成するよう、これまで以上の展開を望みます。

高齢化が進む一方、地域経済の発展が困難な中で、就業援助、生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりが求められています。シルバー人材センターには、これまで以上に期待が寄せられるところです。

そのためには、新たな活動領域の開拓や、事務の効率化や営業体制の強化を一層進めるとともに、会員のみならず広く市民や事業者を対象とする事業を行うことなどにより、中期事業発展計画を着実に遂行していただきたいと思います。